電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について 76
電話帳に登録する ..... 電話帳登録 76
リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する 78
グループ名を変更する ..... グループ設定 78
電話帳から電話をかける ..... 電話帳検索 79
電話帳を修正する ..... 電話帳修正 82
電話帳を削除する ..... 電話帳削除 82
電話帳の登録状況を確認する ..... 電話帳登録件数 83
電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える
..... 個別着信音／画像、グループ着信音／画像 83
直デンを利用する ..... 直デン 85
少ないボタン操作で電話をかける ..... ツータッチダイヤル 86
電話帳データをセンターに保存する ..... 電話帳お預かりサービス 86

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■登録内容

登録項目	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大1,000件	最大50件
グループ	グループなし、01～19	グループなし、01～10
電話番号の登録	1件に4番号（電話帳全体で4,000番号）	1件に1番号
	23種類のアイコンから選択	「 」のみ
メールアドレスの登録	1件に3アドレス（電話帳全体で3,000アドレス）	1件に1アドレス
	5種類のアイコンから選択	「 」のみ
画像の登録	1件に静止画、キャラ電を1件ずつ（電話帳全体でそれぞれ100件）	－
その他のデータの登録	名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモ	名前、フリガナ

■FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

- 「直デン」→P.85
- 「ツータッチダイヤル」→P.86
- 「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」→P.83
- 「個別着信動作選択」→P.122
- シークレットデータとして登録→P.113
- シークレットコードの設定→P.81

■FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■音声電話、テレビ電話

電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■ｉモードメール、SMSの名前表示について

電話帳に登録した相手にｉモードメールまたはSMSを送受信すると、送信メールや受信メールの一覧画面、詳細画面、アドレス一覧には相手の名前が表示されます。

電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

●「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

❶ MENU▶「PHONEBOOK」▶ch【機能】▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字（本体のみ）で入力します。

登録できる文字数は、本体で全角16文字、半角32文字、FOMAカードで全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

❷ フリガナを確認▶■【確定】

■ フリガナが間違っていた場合

カタカナ（本体は半角、FOMAカードは全角）、半角の英数字、記号で修正します。

登録できる文字数は、本体で半角32文字、FOMAカードで全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

❸ 以下の項目から選択

GR **グループ選択**……登録するグループを本体では「グループ01～19」から、FOMAカードでは「グループ01～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループなし」に登録されます。

電話番号入力……電話番号を入力します。
- 本体ではさらにアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。
- FOMAカードでは、青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色／白色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。

メールアドレス入力……メールアドレスを入力します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
本体ではさらにアイコンを選択します。1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

郵便番号入力・住所入力……郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

誕生日入力……誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ入力……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画登録……着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電選択……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

メモリ番号入力……メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～999の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※：010～999の空き番号に、若い順に割り当てられます。010～999に空き番号がないときは000～009の空き番号に割り当てられます。

4 ✉ **[完了]**

おしらせ
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
  ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

おしらせ
- 「2in1設定」により、電話帳も2in1設定されます。「電話帳2in1設定」の設定内容（A／B／AB）は、2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面に表示されます。ただし、電話帳をメールに添付したりFOMAカード電話帳にコピーする場合、電話帳2in1設定は送られません。

モード	電話帳2in1設定
デュアルモード	A
Aモード	A
Bモード	B
OFF	A

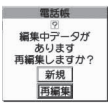
電話帳2in1設定の変更は「2in1設定」から行います。→P.351

<キャラ電設定の優先順位>
- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像のキャラ電設定
  ②グループ着信音／画像のキャラ電設定
  ③電話帳登録のキャラ電
  ④画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

編集中に電池切れアラームが鳴った場合やマルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など中断した電話帳の編集を再開できます。

1 MENU ▶「PHONEBOOK」▶ch【機能】▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶「再編集」



編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」「テキストリーダー」またはサイト画面、電話番号入力画面などから電話帳に登録します。

＜例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合＞

❶着信履歴画面（P.54）▶ch［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」

■ FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード（UIM）」

❷「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.79

■ 新規に登録する場合
▶「新規登録」

■ FOMAカードの場合
▶「新規登録」または「上書き登録」

❸電話帳の詳細画面を表示▶■［選択］

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.82

❹修正が終わったら✉［完了］

■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」「リダイヤル」に表示される発信者番号通知の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。

グループ名を変更する

〈グループ設定〉

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。

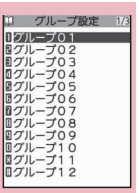
- 「グループなし」のグループ名は変更できません。

❶電話帳一覧画面（P.79）▶ch［機能］▶「グループ設定」

「グループ設定画面」が表示されます。

❷グループを選択▶グループ名を入力

「📖」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。
全角10文字、半角21文字まで入力できます。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。



グループ設定画面

機能メニュー➡P.78

機能 グループ設定画面（P.78）

グループ名編集……グループ名を編集します。

グループ着信音／画像→P.83

グループ名初期化……変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

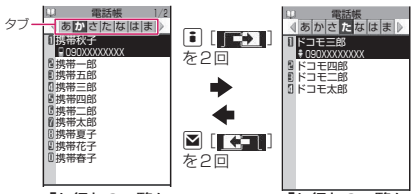
おしらせ

- グループ名を初期化しても、「グループ着信音／画像」の設定は解除されません。

電話帳から電話をかける
〈電話帳検索〉

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出します。

- 電話帳一覧画面で、タブが表示されている場合は、以下のように表示を切り替えられます。
  ＜例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合＞



「か行」の一覧を表示　「た行」の一覧を表示

おしらせ

- で同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。
- 直デン登録やメール作成における電話帳参照時は、[ ]によるタブ切り替えは行えません。

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかける

❶ MENU▶「PHONEBOOK」
「電話帳一覧画面」が表示されます。

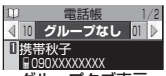
電話帳一覧画面
機能メニュー ➡P.80

■ 一覧画面から音声電話をかける場合
▶電話をかける電話帳を反転▶ （音声電話）
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■ タブ表示を切り替える場合
▶ch［機能］▶「タブ表示切替」▶「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示



グループタブ表示

❷ **目的の電話帳を選択**
「電話帳詳細画面」が表示されます。

❸ **で目的の電話番号を表示▶ （音声電話）または ［テレビ電話］**

■ メールを送信する場合
▶で目的のメールアドレスを表示▶■［MAIL］
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.172

電話帳詳細画面
機能メニュー ➡P.81

おしらせ

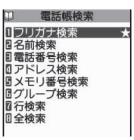
- 通話中に を押した場合はグループ検索画面が表示され、を押した場合は行検索画面が表示されます。

検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索します。

- 電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索します（メモリ番号検索以外）。
  50音 → 英字 → 数字 → 記号
  → フリガナが登録されていないもの
  ※ フリガナの先頭にスペースが入力されていると最初に検索されます。

❶ **待受画面表示中▶**



■ 優先して表示する検索方法を設定する場合
▶優先したい検索方法を反転▶［優先］▶「OK」
優先に設定した検索方法には「★」が付きます。
待受画面表示中にを押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合
▶待受画面表示中▶▶CLR▶「★」が付いている検索方法を反転▶［解除］

次ページにつづく

❷ 検索方法を選択

フリガナ検索……▶**フリガナを入力**▶[決定]
フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

名前検索……▶**名前を入力**▶[決定]
名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索……▶**電話番号を入力**▶[決定]
電話番号の最初の数桁または途中の数桁を入力します。
「電話番号入力画面」(P.50) で電話番号の一部を入力し[決定]でも検索できます。

アドレス検索……▶**メールアドレスを入力**▶[決定]
アドレスは一部を入力するだけで構いません。

メモリ番号検索……▶**3桁のメモリ番号を入力**
FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索……▶**目的のグループを選択**
FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

行検索……▶**検索したい行（タブ）のボタンを押す**
[1]：あ行　[2]：か行　[3]：さ行
[4]：た行　[5]：な行　[6]：は行
[7]：ま行　[8]：や行　[9]：ら行
[0]：わ行　[*]：その他（英数字など）

全検索……登録されているすべての電話帳を50音タブ表示します。

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は「SIM」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー ➡P.80

● リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」の各画面の機能メニューから「電話帳参照」を選択すると、登録済みの電話帳詳細画面を呼び出すことができます。

機能 電話帳一覧画面（P.79）

●検索方法、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳登録→P.76

お預りセンターに接続……電話帳データをドコモのお預かりセンターに預けます。→P.86

ソート※1……指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。

タブ表示切替……「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

個別着信音／画像→P.84

個別着信動作選択→P.122

グループ設定→P.78

microSDへコピー※2→P.272
•「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、マイプロフィールのデータをコピーするかしないかを選択します。

iC送信※2→P.283

iC全送信※2→P.284

赤外線送信※2→P.282

赤外線全送信※2→P.282

電話帳登録件数→P.83

メール添付※2※3……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。→P.102

microSD参照⇔本体参照……microSDカード内、FOMA端末（本体）の電話帳を参照します。

電話帳削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
•「全削除」を行うとFOMAカードの電話帳も削除されます。

※1：フリガナ検索など、条件を入力して電話帳検索を行ったときに表示される結果画面で利用することができます。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

機能 電話帳詳細画面（P.79）

電話帳編集→P.82

発信者番号通知→P.58

着もじ→P.56

発信設定

プレフィックス→P.59

国際電話発信→P.60

2in1／マルチナンバー……2in1設定がONでデュアルモードのときは「Aナンバー／Bナンバー／設定消去」（P.352）から選択します（Aモード、Bモードのときは利用できません）。
2in1設定がOFFのときはマルチナンバーの「基本契約番号／付加番号1／付加番号2／設定消去」（P.349）から選択します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

個別着信音／画像※1→P.83

個別着信動作選択※1→P.122

先頭へ移動※1……電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。

直デン登録※1→P.85

デスクトップ貼付→P.103

iモードメール作成※2→P.172

メール添付※1※2……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

SMS作成※2→P.204

iC送信※1→P.283

iC全送信※1→P.284

赤外線送信※1→P.282

赤外線全送信※1→P.282

microSDへコピー※1→P.272

コピー

名前……名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。
→P.337

電話番号※3……電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.337

シークレットコード※1→P.81

コード設定……シークレットコード（4桁）を設定します。

コード参照……設定したシークレットコードを確認します。

設定解除……設定したシークレットコードを解除します。

シークレット設定※1※4→P.113

FOMAカードへコピー※5→P.279

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。→P.102

電話帳削除→P.82

※1：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：選択している項目によって機能名は「メールアドレス／住所／誕生日／メモ」と表示されます。
※4：シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※5：FOMAカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

＜直デン登録＞
- 直デンに登録すると機能メニューに「★」が表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。
このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。

- 電話帳詳細画面の機能メニューから電話帳にシークレットコードを設定する（メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます）。
- 電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

- シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。
- FOMAカードの電話帳にはシークレットコードを設定できません。

電話帳を修正する 〈電話帳修正〉

❶ 電話帳詳細画面（P.79）▶ch【機能】▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.76

■ 新しいメモリ番号に登録する場合

▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～999）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

❷ 修正が終わったら✉【完了】▶「YES」

■ FOMAカードの場合

▶✉［完了］▶「上書き登録」または「追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 修正した電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンも自動的に修正されます。

電話帳を削除する 〈電話帳削除〉

❶ 電話帳詳細画面（P.79）▶ch【機能】▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※……選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。

1件削除……電話帳を削除します。

※：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除／キャラ電削除」と表示されます。

おしらせ

- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

電話帳の登録状況を確認する
〈電話帳登録件数〉

❶ 電話帳一覧画面（P.79）▶ch［機能］▶「電話帳登録件数」

■ 本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳　：電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／1,000（登録できる件数）

シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示
（「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示）

静止画　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電　：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

■ FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳　：電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／ 50（登録できる件数）

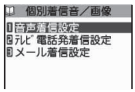
電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える
〈個別着信音／画像、グループ着信音／画像〉

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループなし」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、個別着信音／画像およびグループ着信音／画像は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

❶ 電話帳詳細画面（P.79）▶ch［機能］▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」が付きます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。



個別着信音／画像設定画面

■ グループごとに発着信の設定を変える場合
▶グループ設定画面（P.78）▶ch［機能］▶「グループ着信音／画像」

❷ 着信を識別する項目を選択

「音声着信設定／テレビ電話発着信設定／メール着信設定」から選択します。
- 「メール着信設定」を選択すると、iモードメールのほか、SMSの着信も対象になります。

❸ 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を反転▶✉［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

着信音設定※1……誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。
「着信音を変える」→P.90

着信画面設定※1※2……誰からの電話かを、着信画像で区別します。
「画面の表示を変える」→P.96

キャラ電設定※3……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

イルミネーション設定※1……誰からの電話／メールかを、着信イルミネーションの色で区別します。
「着信時の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する」→P.101

次ページにつづく

バイブレーション設定※1……誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。
「着信を振動で知らせる」→P.92

応答メッセージ設定※2……伝言メモ※4、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.68

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※3：「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※4：「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

■個別着信音／画像を設定すると
電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

：着信音（音声／テレビ電話）
：着信音（メール）
：イルミネーション（音声／テレビ電話）
：イルミネーション（メール）
：バイブレーション（音声／テレビ電話）
：バイブレーション（メール）
：着信画面（音声／テレビ電話）
：応答メッセージ（音声／テレビ電話）
：キャラ電（テレビ電話）

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。またグループで設定しても、シークレットデータとして登録された電話帳の場合、本機能の設定は無効になります。
- 電話番号に対して設定する「メール着信設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。
- 個別着信音／画像、グループ着信音／画像の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - 着信音の優先順位→P.91
  - バイブレータの優先順位→P.92
  - 着信画像の優先順位→P.91
  - 着信イルミネーションの優先順位→P.102

個別着信音／画像、グループ着信音／画像の設定状況を確認する

個別着信音／画像、グループ着信音／画像を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認します。

❶ 電話帳一覧画面（P.79）▶ch【機能】▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像確認画面」が表示されます。本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

❷「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転▶ch【機能】▶以下の項目から選択

設定確認……設定状態を確認します。
▶「★」が付いている機能または項目を選択※▶設定されている電話帳およびグループを確認

設定解除……「★」が付いている機能の設定をまとめて解除します。

※：設定している機能または項目によって選択項目の数（■を押す回数）が変わります。

直デンを利用する 〈直デン〉

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンは、FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を引用し、最大5件まで登録できます。
- 直デンにメールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたiモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することはできません。

直デンに登録する

❶ 待受画面表示中▶[ ]

「直デン画面」が表示されます。

登録したデータがある場合、登録されている最も若いタブの番号の直デン画面が表示されます。

■ 登録する場所を変更する場合

▶[ ]でタブを移動する

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

直デン画面

機能メニュー➡P.85

❷ ✉ [登録]▶電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.79

■ 登録内容を変更する場合

▶✉［編集］

❸ ■ [選択]

「電話帳引用画面」が表示されます。

電話帳引用画面

❹ [ ]で□（チェックボックス）を選択

登録する電話番号、メールアドレスをそれぞれ1つだけ選択します。

チェックボックスが選択状態になっていると、他の電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

❺ ✉ [完了]

おしらせ

- 「電話帳2in1設定」の設定内容は、2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に表示されます。
- 電話帳に画像が登録されている場合、電話帳の画像を登録します。

直デンから電話をかける／メールを作成する

＜例：電話をかける場合＞

❶ 直デン画面（P.85）▶[ ]で電話をかける直デン画面を表示

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

❷ [ ]で「電話する」を選択

■ メールを作成する場合

▶[ ]で「メールする」を選択→P.172

■ テレビ電話をかける場合

▶[ ]で「テレビ電話する」を選択

機能 直デン画面（P.85）

登録／編集……未登録の直デンに登録または、登録済みの直デンを編集します。→P.85

画像変更……「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンで表示される画像を変更します。

iモードメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。→P.172

チャットメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスをチャットメンバーに設定し、チャット画面を表示します。→P.200

1件解除・全解除……直デンを1件または全解除します。

おしらせ

＜画像変更＞

- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。ただしJPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

少ないボタン操作で電話をかける 〈ツータッチダイヤル〉

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、0から9（メモリ番号の下1桁）とを押すだけで電話をかけることができます。

❶ 0～9▶（音声電話）／【テレビ電話】

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。

電話帳データをセンターに保存する 〈電話帳お預かりサービス〉

FOMA端末（本体）の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、FOMA端末に復元・更新することができます。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- i モードサービスエリア圏外、電源OFF時などは利用できません。
- 電話帳の復元や自動更新設定などは、以下の手順から行えます。
  ▶「i Menu」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

❶ MENU▶「LIFEKIT」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」

■ 電話帳内の画像送信について設定する場合

▶「電話帳内画像送信設定」▶「する」（お買い上げ時：しない）

電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

❷ 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

❸ 【完了】

おしらせ

- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。

● 電話帳を復元／更新する

お預かりセンターに保存した電話帳データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存することができます。
また、お預かりセンターに預けている電話帳データをパソコンなどから編集することもできます。
ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

おしらせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、「 」のデスクトップアイコンでお知らせします。
- お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「 」や「 」に置き換わることがあります。
- FOMA端末の電話帳を削除すると、電話帳の更新時にお預かりセンターの電話帳も同様に削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末の電話帳にダウンロードする場合は、以下の手順で復元を行ってください。
  ▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」▶「①お預かりセンター」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」▶「ケータイへダウンロード」▶「OK」
  約15秒後にダウンロードが開始されますので、待受画面に戻してください。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンター残件数が表示されます。

❶ MENU▶「LIFEKIT」▶「電話帳お預りサービス」▶「通信履歴表示」

「通信履歴一覧画面」が表示されます。

通信履歴一覧画面

機能メニュー➡P.87

❷ 通信履歴項目を選択

機能 通信履歴一覧画面（P.87）

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.38